

黒石市教育委員会告示第2号

黒石市スポーツ推進計画の策定について

黒石市スポーツ推進計画を別紙のとおり定める。

平成30年3月1日

黒石市教育委員会教育長 山内孝行

黒石市 スポーツ推進計画

平成30年2月

黒石市教育委員会

目 次

第1章 計画策定にあたって

- 1 計画策定の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 計画の位置付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3 計画の期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

第2章 本市の現状と課題

- 1 市民の運動・スポーツに関する意識調査・・・・・・・・・・ 3
- 2 子どもの体力・運動能力・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- 3 スポーツ関係団体・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- 4 スポーツ施設と利用実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- 5 学校施設開放事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

第3章 基本方針及び施策の体系

- 1 基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
- 2 施策の体系・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
- 3 黒石市スポーツ推進計画の基本目標の施策
 - (1) ライフステージに応じた一市民一スポーツの推進・・・・・・・・ 23
 - ①スポーツ活動の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
 - ②スポーツを通じた健康増進・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
 - ③障害者の運動・スポーツの促進・・・・・・・・・・ 23
 - (2) 学校や地域における子どものスポーツ機会の充実・・・・・・・・ 24
 - ①児童・生徒の体力・運動能力の向上・・・・・・・・ 24
 - ②子どもの運動するきっかけ作りの充実・・・・・・・・ 24
 - (3) 競技スポーツの推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
 - ①夢の実現や未来に向かう競技スポーツの推進・・・・・・・・ 25
 - ②全国大会等で活躍できるジュニア選手の発掘・育成・・・・ 25
 - ③各種競技会への参加支援・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
 - (4) スポーツ推進のための環境整備・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
 - ①地域スポーツ活動を支える人材の育成・・・・・・・・ 26
 - ②スポーツ施設の有効活用・利用促進・・・・・・・・ 26
 - ③市民のスポーツ意識の高揚・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

【参考資料】

- 1 スポーツ基本法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
- 2 スポーツ基本計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
- 3 青森県スポーツ推進計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
- 4 第5次黒石市総合計画後期基本計画・・・・・・・・・・ 29
- 5 黒石市教育大綱・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
- 6 スポーツ推進委員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
- 黒石市スポーツ推進計画策定委員会委員名簿・・・・・・・・ 31

第1章 計画策定にあたって

1 計画策定の趣旨

近年、少子高齢化や情報化の進展など急激な社会環境の変化により、人々のライフスタイルが変化し、健康づくりへの意識が高揚するとともに、スポーツに対するニーズも多様化してきました。

また、生活習慣病をはじめとした様々な健康不安や子どもの健全な発達・成長を支える体力・運動能力の低下、運動をする子どもとしない子どもの二極化等も問題となっています。

このようなことから、子どもから高齢者まで、誰もが健康で生き生きとした生活を送るためには、日々の暮らしにスポーツを取り入れることができる環境づくりが急務となっており、国が「スポーツ基本計画」を、県が「青森県スポーツ推進計画」を策定しています。

本市においても、市民一人ひとりが自らの健康を大切にし、進んで健康づくりに参加できるよう、市民同士がともに支えあいながら社会全体で健康づくりを推進するため、平成27年2月に「子どもの健康教育」「保健協力員の充実」「一市民一スポーツ」を3本柱とする「健康都市宣言」をし、各施策を展開しています。

特に、3本柱の一つである「一市民一スポーツ」の推進については、市民一人ひとりが健康や体力の増進を図り、日常的にスポーツ活動やレクリエーション活動を実践できるよう、各種事業の実施やスポーツ施設の環境整備に努めているところで

す。そしてこのたび、市民が「いつでも・どこでも・だれでも」スポーツに取り組み、豊かなスポーツライフを実現することにより、本市がより明るく力強いまちとして発展していくことを願って、ここに「黒石市スポーツ推進計画」を策定するものです。

2 計画の位置付け

本計画はスポーツ基本法第10条の規定による「地方スポーツ推進計画」であるとともに、「第5次黒石市総合計画基本計画」のまちづくりの目標3「心豊かな人を育てるまち」の「3-4 スポーツの振興」の各施策をはじめ、競技スポーツ活動・レクリエーションスポーツ活動に関する施策を一体的に推進するための分野別計画として位置づけます。

3 計画の期間

本計画は、平成30年度を初年度とし、平成34年度までの5年間で計画期間とします。



(第1回黒石市民運動会 大玉運び)



(第1回黒石市民運動会 綱引き)

第2章 本市の現状と課題

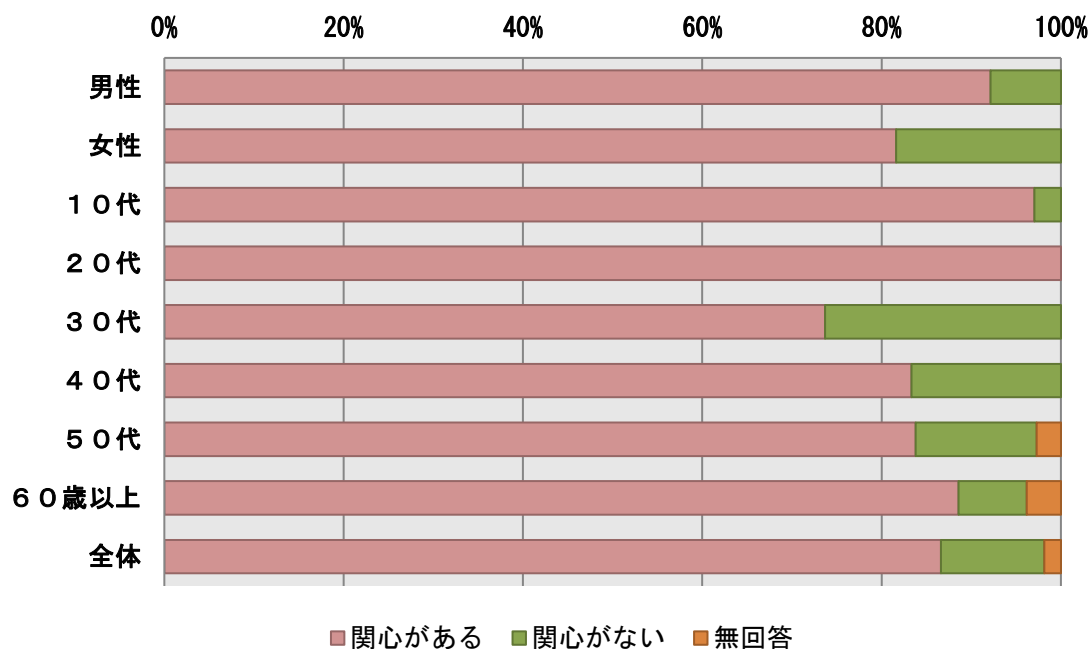
1 市民の運動・スポーツに関する意識調査

平成29年8月に開催した第1回黒石市民運動会を通して、市民のスポーツに対する意識を把握し、「一市民一スポーツ」の推進を図る計画策定の資料とすることを目的として、「市民の運動・スポーツに関する意識調査」を行いました。

これらの結果を踏まえたうえで、市民が、いつでも・どこでも・気軽にスポーツに親しむ環境づくりを推進することにより、市民がスポーツを通して、健康で明るく豊かな生活を送ることができる社会の実現を目指します。

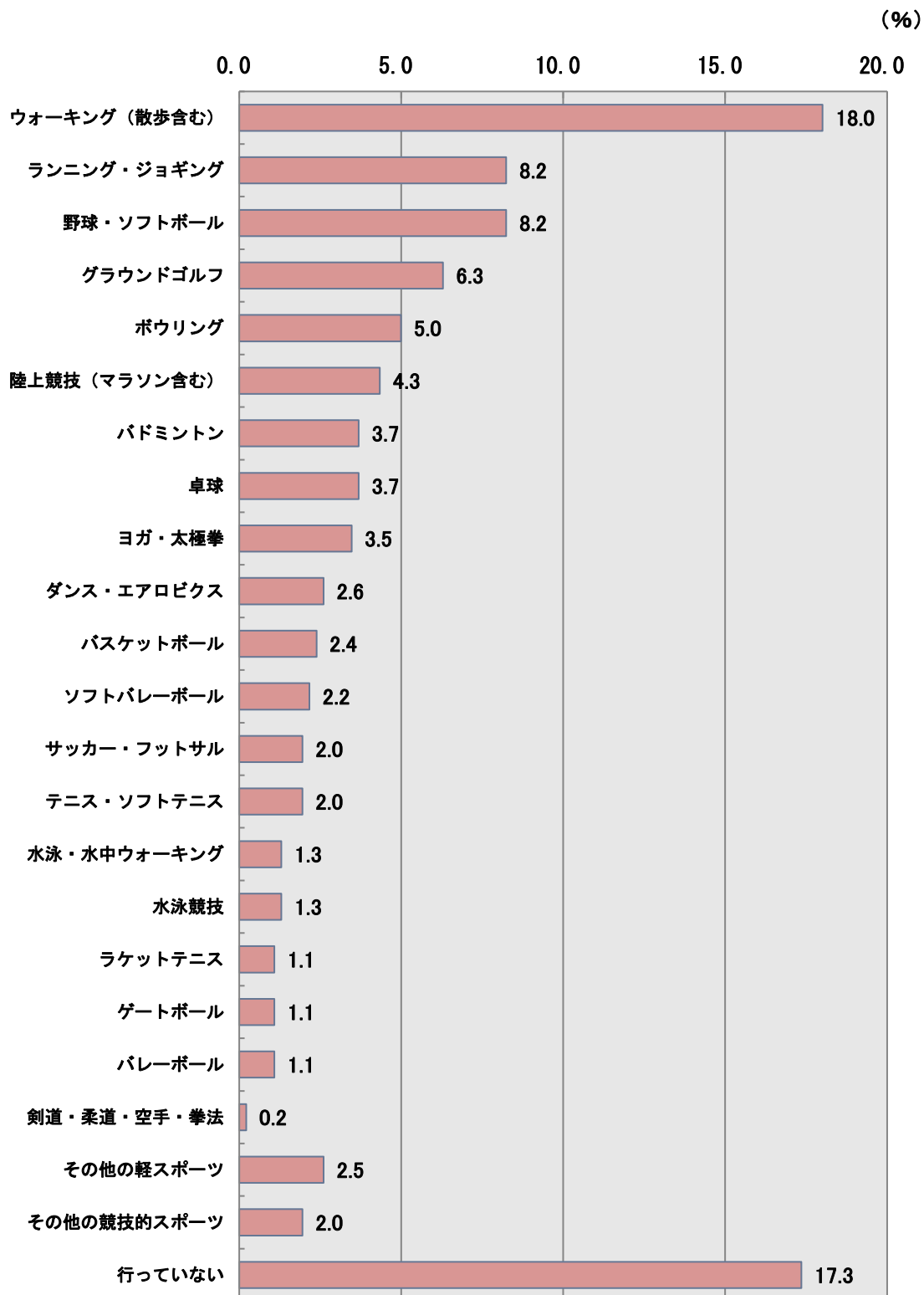
配布数	回答数	回答率
400枚	269枚（男171人、女98人）	67.25%

(問1.) あなたは運動・スポーツに関心がありますか。



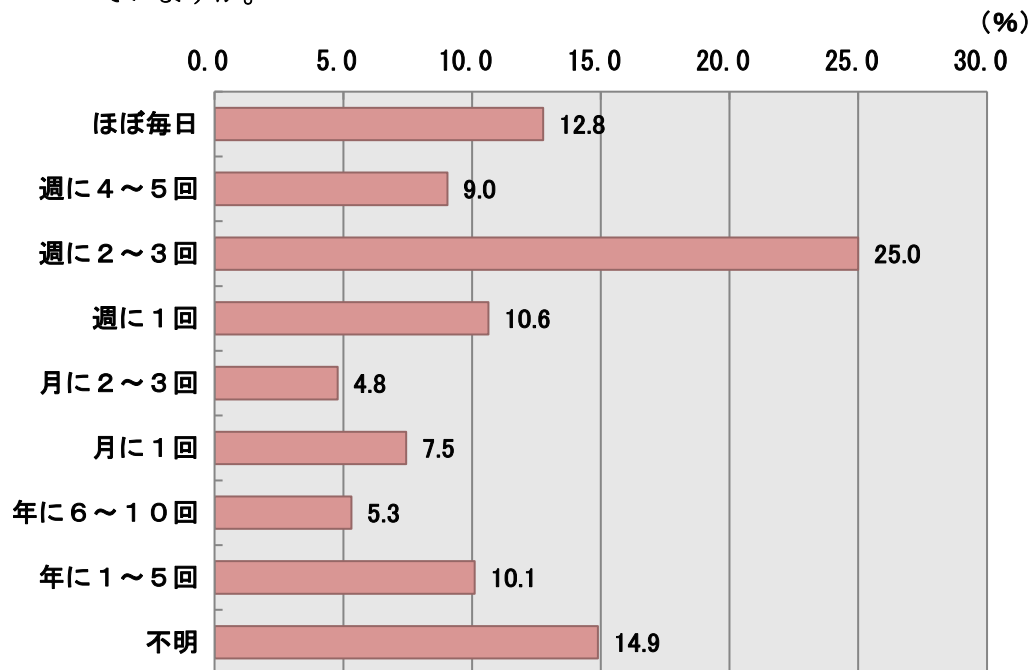
- 「男性」、「女性」及び「各年代」で、運動・スポーツに対する関心の高さがうかがえます。また、「全体」では233人（86.6%）が運動・スポーツに「関心がある」と回答しています。

(問2.) 最近、下記に示すようなスポーツを行っていますか。(複数回答可)



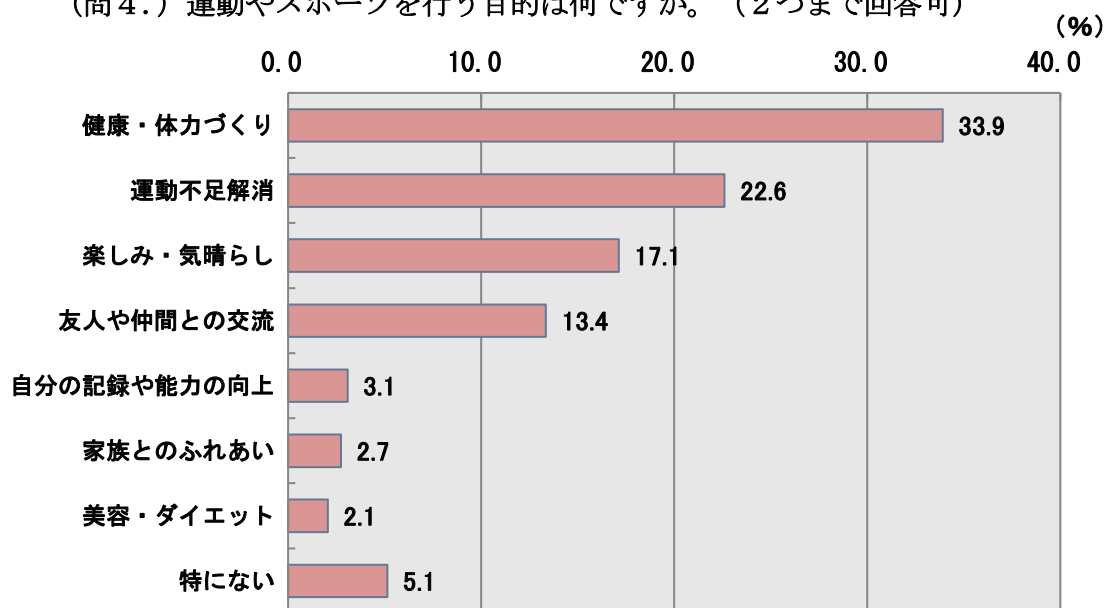
○ 「ウォーキング (18.0%)」、「ランニング・ジョギング (8.2%)」、「野球・ソフトボール (8.2%)」の割合が高く、その他にも様々なスポーツを行っていることがうかがえます。

(問3.) あなたは普段、問2であげられるような運動・スポーツをどの程度行っていますか。



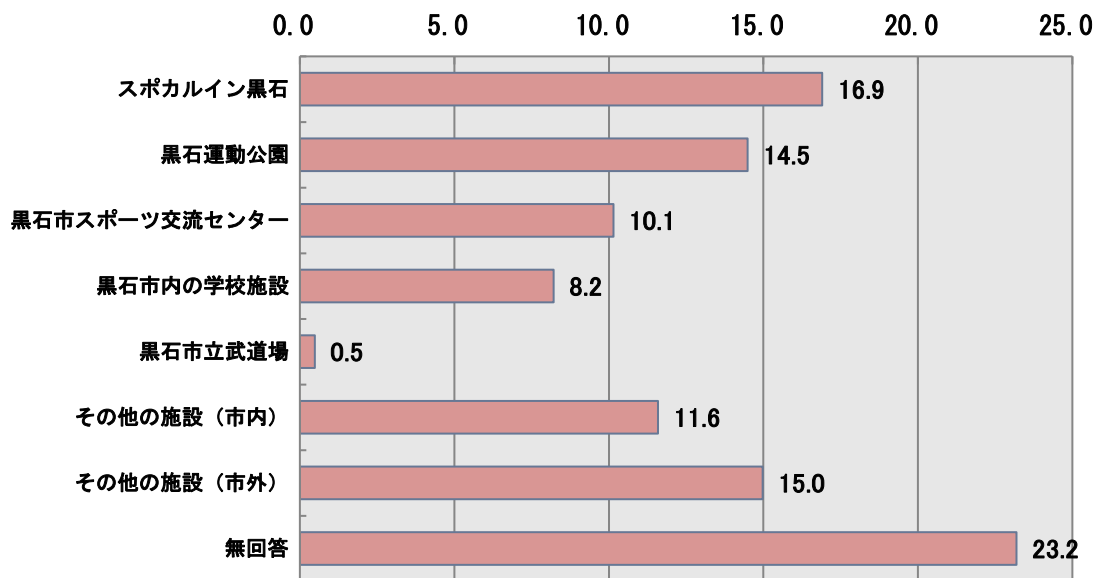
○ スポーツを行っている人の中では、「週に2~3回 (25.0%)」と回答した人の割合が最も高く、「ほぼ毎日 (12.8%)」、「週に4~5回 (9.0%)」、「週に1回 (10.6%)」を加えると、週に1回以上運動・スポーツを行う人が57.4%となり、普段から運動をする習慣が身についている人が多いことがうかがえます。

(問4.) 運動やスポーツを行う目的は何ですか。(2つまで回答可)



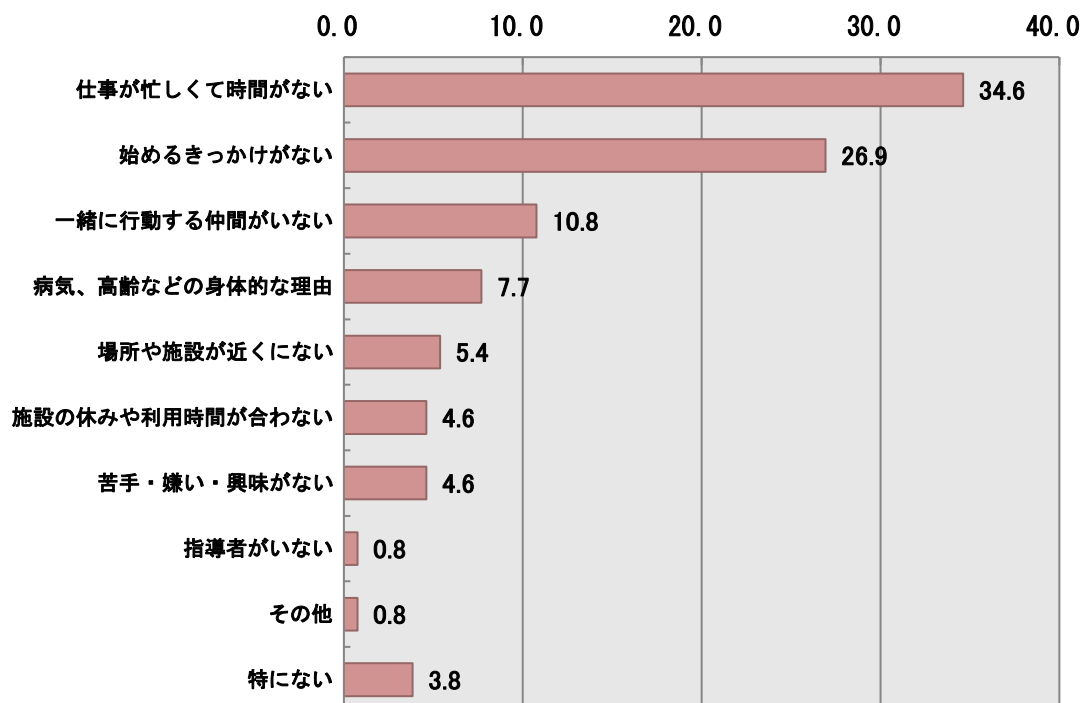
○ 「健康・体力づくり (33.9%)」及び「運動不足解消 (22.6%)」と答えた人の割合が高く、健康増進を目的にスポーツ活動に取り組む人が多いことがうかがえます。

(問5.) どんなスポーツ施設を利用していますか。(複数回答可) (%)



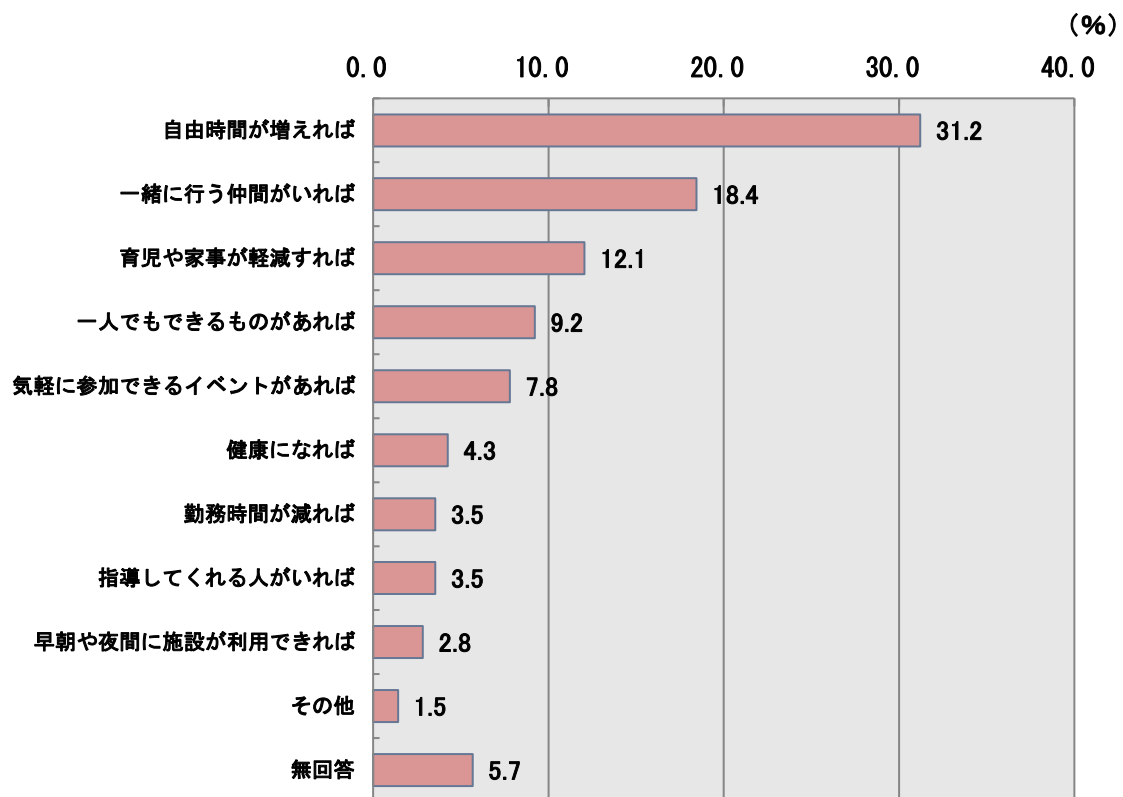
- 「スポカールイン黒石(16.9%)」、「黒石運動公園(14.5%)」、「黒石市スポーツ交流センター(10.1%)」の順に割合が高くなっており、市内の施設を利用している人が61.8%となっています。また、「その他施設(市内)(11.6%)」の内訳として、各地区公民館・地区センター、東公園などが挙げられます。

(問6.) 運動やスポーツを行わない理由は何ですか。(3つまで回答可) (%)



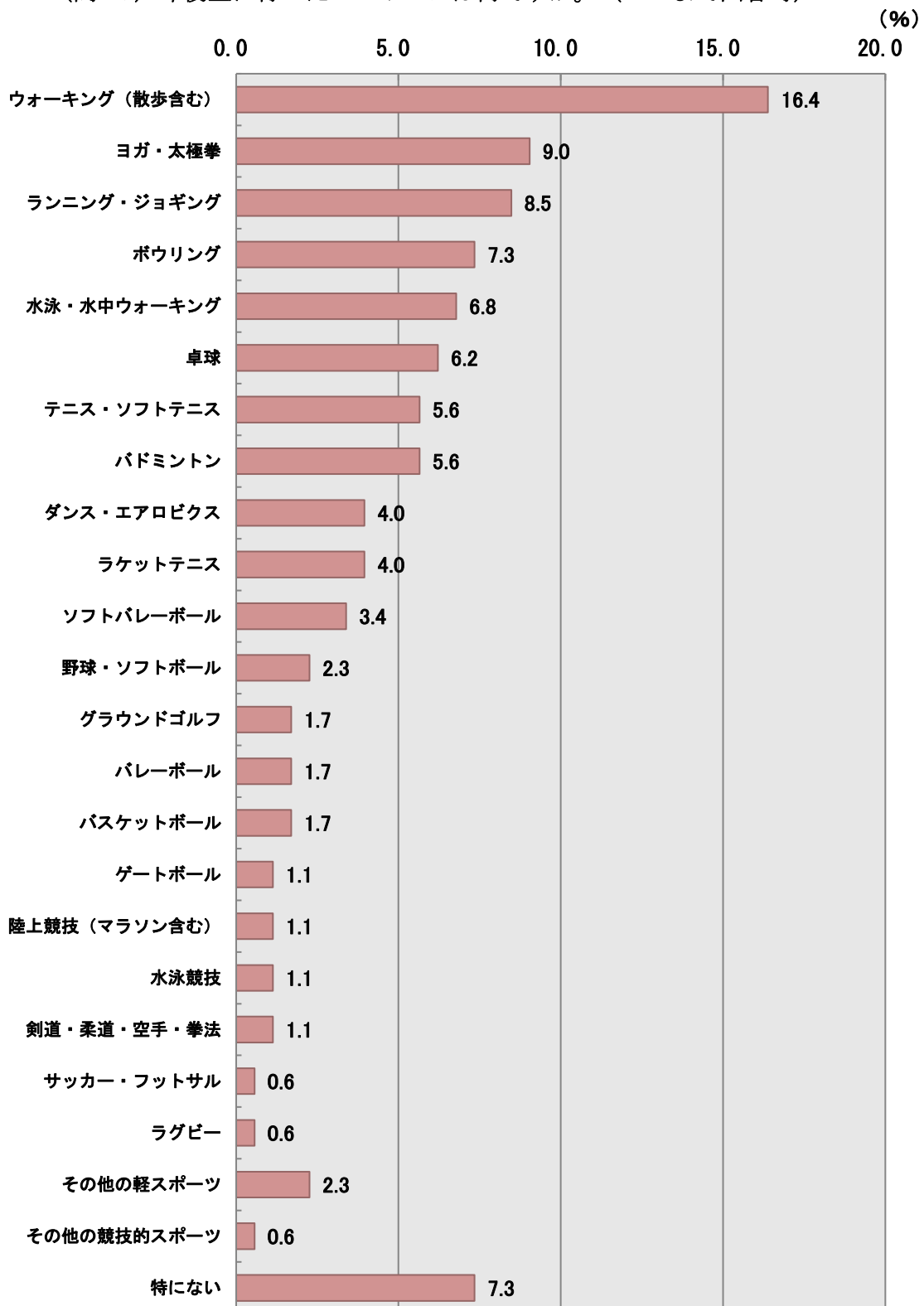
- スポーツを行わない理由として、「仕事が忙しくて時間がない(34.6%)」、「始めるきっかけがない(26.9%)」の順で割合が高くなっており、約6割を占めています。

(問7.) 今後どのような点が変われば運動やスポーツを行うようになると思いますか。
(3つまで回答可)



○ 「自由時間が増えれば (31.2%)」と回答した人の割合が最も高く、「育児や家事が軽減すれば (12.1%)」、「勤務時間が減れば (3.5%)」、「早朝や夜間に施設が利用できれば (2.8%)」を加えると、多くの人がスポーツ活動に取り組む時間の確保が課題であると考えていることがうかがえます。

(問8.) 今後主に行いたいスポーツは何ですか。(3つまで回答可)



○ 現在スポーツを行っていない人を対象に、今後主に行いたいスポーツについてたずねたところ、「ウォーキング (16.4%)」と答えた人の割合が高く、手軽に始められることや、健康ブームを反映したニーズの高さがうかがえます。

2 子どもの体力・運動能力

平成28年度の全国の小・中学校の新体力テストの調査結果によると、本市の児童生徒の体力は、小学5年生女子は全国平均を上回っていますが、小学5年生男子、中学2年生男女は全国平均を若干下回っています。

個々の種目に関しては、小学生5年生男女ともに柔軟性の「長座体前屈」ほか2種目が全国平均を下回っています。また、中学2年生男女ともに筋パワー・筋持久力の「上体起こし」ほか3種目が全国平均を下回っています。

体力テスト種目	単位	体力要素	測定
①握力	kg	筋力	左右握力平均値
②上体起こし	回	筋パワー・筋持久力	30秒間に上体を起こした回数
③長座体前屈	cm	柔軟性	長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離
④反復横跳び	点	敏捷性	20秒間に両脚で左右側方に反復跳躍した回数
⑤20mシャトルラン (持久走)	回	全身持久力	20m走行の折り返し回数
⑥50m走	秒	疾走能力	50mの疾走時間
⑦立ち幅跳び	cm	筋パワー・跳躍能力	両脚で前方へ跳躍した直線距離
⑧ハンドボール投げ (ソフトボール投げ)	m	巧緻性・投球能力	ソフトボールを遠投した距離
体力合計点	点	8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計点	

性別、年齢別新体力テストの全国・青森県・黒石市平均値

性別	校種	学年	区分	①握力(kg)	②上体起こし(回)	③長座体前屈(cm)	④反復横跳び(点)	⑤持久走(秒)	⑥20mシャトルラン(回)	⑦50m走(秒)	⑧立ち幅跳び(cm)	⑨ソフトボール投げ(m)	体力合計点
男子	小学生	5年	全国	16.45	19.58	33.05	41.60		51.64	9.38	151.24	22.52	53.80
			県	16.74	19.94	31.42	42.20		53.60	9.57	149.74	23.17	53.55
			市	16.23	19.85	30.09	42.41		54.15	9.64	146.62	25.40	53.11
	中学生	2年	全国	28.93	27.43	43.08	51.62	392.63	85.56	8.01	194.05	20.65	41.89
			県	30.18	27.15	43.74	51.58	405.44	84.67	8.02	194.79	20.33	42.16
			市	29.61	26.41	45.21	47.05	437.96	81.90	7.77	195.97	20.78	40.49
女子	小学生	5年	全国	16.05	18.42	37.44	39.55		40.69	9.62	144.77	13.77	55.18
			県	16.61	18.95	35.92	40.90		44.86	9.70	143.74	14.31	55.87
			市	16.78	18.83	35.79	41.60		45.32	9.71	136.22	15.44	55.75
	中学生	2年	全国	23.68	23.26	45.53	46.09	290.03	58.06	8.84	167.28	12.83	49.08
			県	23.96	22.78	45.76	45.95	300.00	56.88	8.69	164.96	12.46	48.37
			市	23.10	20.64	46.82	44.64	318.61	52.54	8.88	163.62	12.92	46.26

(平成28年度文部科学省体力・運動能力調査報告書による)

※持久走は男子が1,500m、女子が1,000m。

※中学生は持久走もしくは20mシャトルランのいずれかを行う。

※中学生はハンドボール投げ、小学生はソフトボール投げ。

■ 全国平均より高い

■ 全国平均より低い

3 スポーツ関係団体

(1) 公益財団法人黒石市体育協会

公益財団法人黒石市体育協会（以下「市体育協会」という。）に加盟する団体は、平成29年4月現在で23団体あり、所属する会員数は992人となっています。

市体育協会や加盟団体では、独自に主催事業として各種大会を積極的に開催しており、本市の競技スポーツの振興に貢献しています。

また、本市の姉妹都市である宮古市と、スポーツを通して交流と親睦を深めるスポーツ交流会を開催しています。

平成16年4月、本市唯一の総合型地域スポーツクラブ「NPO法人黒石アスリート&エンジョイクラブ」が設立されましたが、平成28年3月に組織変更し、翌月任意団体として新たな活動を開始するとともに、市体育協会に加入しました。

同クラブは、これまでの活動目的である子どもから大人まで、生涯にわたって気軽にスポーツを楽しむことができる環境づくりを継承しつつ、卓球やフェンシング等の7競技で、主にジュニア選手の指導・育成を行うとともに、スポーツ・レクリエーション交流会や各種スポーツ教室を開催しています。



(スポカル番付)



(くろいしアスリート&エンジョイクラブ 卓球教室)

表 公益財団法人黒石市体育協会加盟団体名簿

加盟団体名	会員数（人）
黒石市陸上競技協会	26
黒石野球協会	45
黒石市卓球協会	77
黒石鳥城ソフトテニスクラブ	53
黒石剣友会	52
黒石市バレーボール協会	50
黒石市バドミントン協会	100
黒石市バスケットボール協会	20
黒石山岳会	37
黒石市柔道協会	50
黒石空手協会	19
黒石テニス協会	30
黒石市弓道協会	18
黒石市ウェイトリフティング協会	19
黒石市少林寺拳法協会	25
黒石市フェンシング協会	70
黒石市ソフトボール協会	16
黒石サッカー協会	27
黒石スキークラブ	53
黒石ボクシングクラブ	22
黒石市グラウンド・ゴルフ協会	56
黒石市武術太極拳連盟	16
くろいしアスリート&エンジョイクラブ	111
23団体	992

※平成29年4月現在

(2) スポーツ推進委員

本市の、スポーツ推進のための事業実施に係る連絡調整及び、市民に対するスポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導、助言を行う非常勤職員です。

平成29年4月現在、本市には15人のスポーツ推進委員が委嘱されており、30歳代から60歳代までの男性12人、女性3人で構成されています。

市内の小学校や各団体からの依頼で、スポーツ・レクリエーションの実技指導や講習会を行い普及活動に努めています。

また、スポーツ推進委員自らの資質向上のため、各種研修会への参加や、他市町村との情報交換も積極的に行っています。

新規委員を確保することで、日中の指導者派遣に対応できる体制を整えることができたものの、スポーツに対する市民の多様なニーズに対応するためには、今後もスポーツ推進委員の新たな人材の発掘と育成が課題となっています。



(市内小学校のフライングディスク実技指導)



(市内各団体のキンボール実技指導)

4 スポーツ施設と利用実績

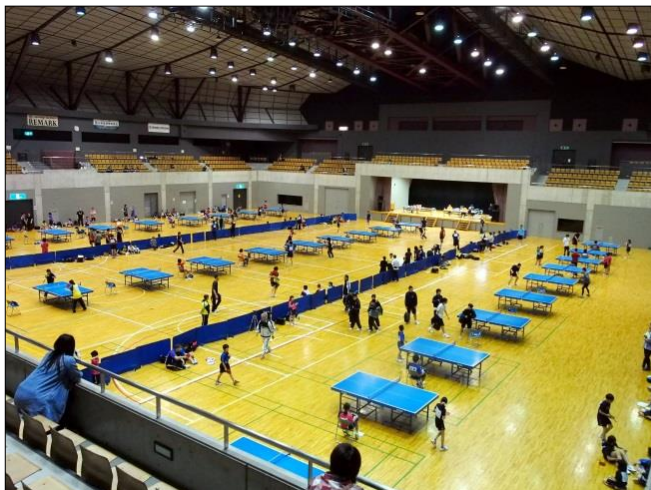
スポカルイン黒石をはじめとする、本市の主要なスポーツ施設の指定管理者である市体育協会では、各施設の維持管理業務を計画的に実施するとともに、独自の主催事業を展開するなどしており、各施設の利用者は着実に増加しています。（P15～17・P19参照）

（1）スポカルイン黒石

平成8年にオープンしたスポカルイン黒石は、メインアリーナの床面積が2,600㎡と県内はもとより東北有数の規模を誇り、全国大会等の様々なスポーツ大会が開催されています。

また、フィットネストレーニング室では各種トレーニング機器を揃え、スタッフが個人の能力に合わせて指導し、年々利用者が増加しています。

なお、施設の名称は、「Sports（スポーツ）」、「Culture（文化）」、「Industry（産業）」が由来となっています。



（黒石市民ナイター卓球大会）



（フィットネストレーニング室）

○スポカルイン黒石利用実績

区 分		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
		件	人	件	人	件	人
アリーナ	全 面	173	47,008	178	51,455	194	50,075
	半 面	132	2,721	156	2,566	184	3,117
一般開放	高校生以下	100	3,099	100	2,686	97	3,433
	大 人		5,377		5,993		6,171
大 会 議 室		282	15,767	276	14,899	270	15,170
中 会 議 室		589	8,707	623	7,829	612	8,186
親 子 ア リ ー ナ		742	18,485	759	20,008	856	18,881
フィットネス	高校生以下	-	2,128	-	2,472	-	1,305
	大 人	-	15,813	-	18,024	-	22,697
健 康 ウ ォ ー ク		-	-	-	2,168	-	4,223
合 計		2,018	119,105	2,092	128,100	2,213	133,258

(2) 黒石市スポーツ交流センター

昭和52年、黒石市中央スポーツ館としてオープンしました。平成29年4月に黒石市スポーツ交流センターに名称を変更し、市民の心身の健康と、スポーツの振興に資する施設として市民の交流の場となっており、幅広い世代に利用されています。



(アリーナ)

○黒石市スポーツ交流センター利用実績

区 分		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
		件	人	件	人	件	人
アリーナ	全 面	548	17,047	504	18,741	503	16,458
	半 面	603	9,064	685	8,859	743	8,571
個人利用	高校生以下	-	2,123	-	1,461	-	1,411
	大 人	-	173	-	270	-	184
合 計		1,151	28,407	1,189	29,331	1,246	26,624

(3) 黒石市立武道場

昭和57年にオープンし、市民の心と技を鍛える武道のための施設として、一年を通して利用することができ、市の武道中核施設として多くの選手を輩出してきた歴史ある施設です。

施設利用状況として、市内の空手、柔道などの団体が定期的に利用しています。



(武道場)

○黒石市立武道場利用実績

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
小 学 生	1,243	1,627	2,086
中 学 生	1,049	676	281
高校・一般	1,031	949	1,023
合 計	3,323	3,252	3,390

(人)

(4) 黒石運動公園

昭和49年に野球場、昭和57年にテニスコート、昭和60年に陸上競技場、昭和61年に弓道場、平成元年にプールがそれぞれオープンしました。

また、平成8年に野球場の夜間照明施設が完成し、平成24年には夜間照明施設もあるテニスコート6面を、天候に左右されず利用できる全天候型に改修し、各種スポーツ大会を開催しています。



(野球場)



(プール)

○黒石運動公園利用実績

区 分	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	件	人	件	人	件	人
野 球 場	124	9,467	86	7,801	76	8,564
陸 上 競 技 場	115	3,922	90	3,027	79	2,869
庭 球 場	804	6,714	1,011	8,223	958	8,800
弓 道 場	442	1,264	457	1,347	388	1,125
運 動 広 場	25	2,902	9	1,700	27	2,240
多 目 的 広 場	31	1,440	36	985	29	665
プ ー ル	28	10,102	31	15,676	30	17,897
合 計	1,569	35,811	1,720	38,759	1,587	42,160

(5) 各スポーツ施設の課題

各施設が全体的に老朽化していることから、施設の維持管理については、指定管理者と協議しながら連携を密にして、適切な施設の管理運営に取り組むことが必要です。

5 学校施設開放事業

昭和51年に「黒石市立小・中学校の施設の開放に関する規則」を制定し、市民の健康増進、スポーツの普及、技術向上、青少年の健全育成のため、市内スポーツサークル活動の場として学校体育施設を開放しています。

平成32年(2020年)4月からは、市内小中学校適正配置計画の実施により、利用施設及び利用方法の検討が必要です。

○学校施設開放利用実績

学 校 名	平成 26 年度				平成 27 年度				平成 28 年度			
	回 数	利 用 者	時 間	団 体	回 数	利 用 者	時 間	団 体	回 数	利 用 者	時 間	団 体
黒石小学校	334	7,478	785	3	291	6,929	588	3	262	7,676	540	3
六郷小学校	139	1,782	307	5	99	1,165	213	5	80	827	170	6
上十川小学校	100	1,734	210	2	107	1,576	228	2	118	2,771	278	2
中郷小学校	241	3,335	480	7	207	3,097	427	7	186	2,738	370	8
北陽小学校	171	2,596	349	6	163	2,569	326	7	139	2,297	278	8
東英小学校	82	1,304	213	2	221	4,013	541	2	132	1,765	336	2
牡丹平小学校	145	1,605	294	4	160	2,139	700	4	222	2,632	803	6
浅瀬石小学校	171	2,716	335	4	139	2,300	274	5	140	2,338	275	4
追子野木小学校	218	5,607	435	6	207	3,587	391	6	168	2,347	309	5
黒石東小学校	163	2,186	306	5	192	2,552	356	6	240	3,189	446	7
六郷中学校	246	4,576	488	7	247	4,022	467	7	193	4,516	386	6
計	2,010	34,919	4,202	51	2,033	33,949	4,511	54	1,880	33,096	4,191	57

第3章 基本方針及び施策の体系

1 基本方針

スポーツは、人間の身体的・精神的欲求に応える手段の一つであり、人々は、それぞれの目的に応じた様々な方法でスポーツに親しむことによって、自らの暮らしに活力や潤いを得ています。

本市は、こうした人間にとって必要不可欠なスポーツを、市民生活の重要課題として位置付け、市民一人ひとりが、各年齢層でそれぞれのライフスタイルに応じて、スポーツを「する」「みる」「学ぶ」楽しさを知り、主体的にスポーツ活動を行うことができる環境づくりに努めます。そのうえで、本市競技力の維持・向上を図ることに努めます。

また、市民の運動・スポーツに関する意識調査の中の「運動やスポーツを行わない理由」や、「今後どのような点が変われば運動やスポーツを行うか」の結果を踏まえ、市民がスポーツを始めるきっかけ作りとなる環境整備を図ります。



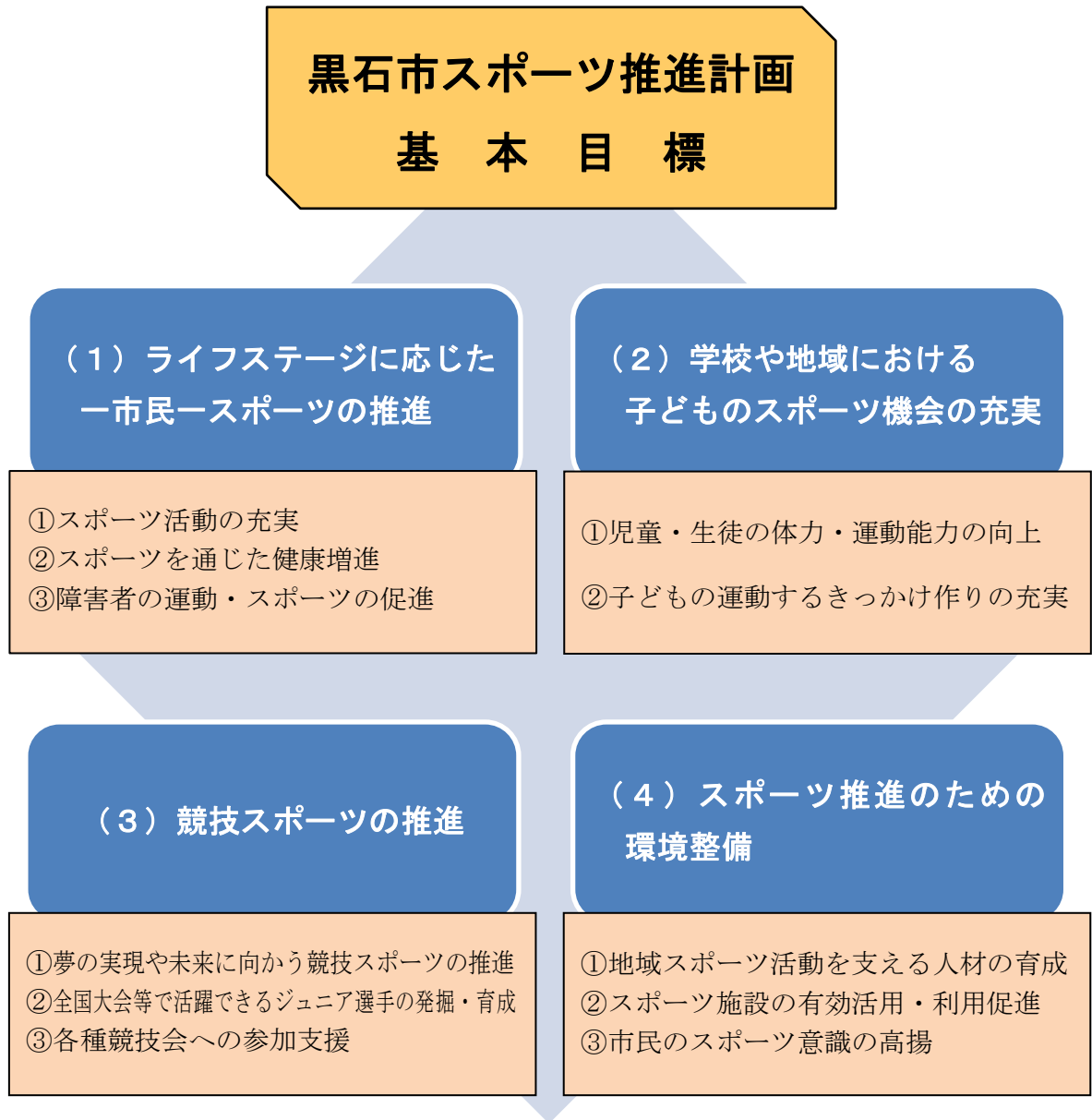
(黒石市文化財めぐりウォーキング)



(出前講座のフライングディスク実技指導〔障害者対象〕)

2 施策の体系

本計画の基本目標を4つとし、それぞれの目標を達成するための具体的施策をまとめ体系化したのが下記の図です。



3 黒石市スポーツ推進計画の基本目標の施策

(1) ライフステージに応じた一市民スポーツの推進

①スポーツ活動の充実

【具体的な取組】

- 市内の各種団体等の行事に出向いて、スポーツ・レクリエーションの普及に努めます。
- 市民のスポーツニーズを把握するためアンケート調査を実施し、その結果を基に一市民スポーツの推進を図ります。
- 市内の各団体の活動を、市広報等で紹介することで、運動をするきっかけ作りを促進します。
- 総合型地域スポーツクラブを活用した、スポーツ機会の充実を図ります。

②スポーツを通じた健康増進

【具体的な取組】

- 初心者向けの各種スポーツ教室を企画、開催することで市民がスポーツをする動機付けを図ります。
- スポーツ推進委員と連携し、市民のニーズに沿った各種スポーツ教室等を開催することで、市民の健康増進を図ります。
- 本市の一市民スポーツ普及のきっかけとなる市民運動会を開催し、市民運動会が本市のスポーツデーとして定着できるよう取り組みます。

③障害者の運動・スポーツの促進

【具体的な取組】

- 障害者の運動・スポーツの指導者等の拡充を図ります。
- 障害者団体等が開催するスポーツイベント等へ協力します。



(レクリエーションスポーツおしかけ講座 ユニカール)

(2) 学校や地域における子どものスポーツ機会の充実

①児童・生徒の体力・運動能力の向上

【具体的な取組】

- 平成28年度の新体力テストの結果を踏まえ、本市が全国平均を下回っている種目（P10参照）を改善するとともに、その他の種目でも得点を伸ばせるよう、市内小中学校と連携して子どもの体力や運動能力の向上に取り組めます。

②子どもの運動するきっかけ作りの充実

【具体的な取組】

- 幼児期から体を動かす習慣を身に付けさせるため、地域で保護者と子どもと一緒に参加できるスポーツ教室やスポーツイベントの開催をします。



(市内中学校の部活動)



(市内小学校の体育の時間)

(3) 競技スポーツの推進

①夢の実現や未来に向かう競技スポーツの推進

【具体的な取組】

- 競技スポーツ指導者の養成や、トップアスリートを招いてのスポーツ講習会等を開催し、高度なレベルの技術取得と競技力向上を目指します。
- 指導者の養成及び資質向上を図るため、専門研修（公益財団法人日本体育協会公認指導者研修等）の受講や資格取得を働きかけます。

②全国大会等で活躍できるジュニア選手の発掘・育成

【具体的な取組】

- 小中学生のスポーツ活動と連携を図りながら、優れた素質を有するジュニア選手の発掘等に努めます。
- 全国大会等に出場することとなった児童・生徒を支援し、ジュニアスポーツの一層の振興を図ります。

③各種競技会への参加支援

【具体的な取組】

- 青森県民体育大会や青森県民駅伝競走大会へ、本市の代表として出場する選手を支援することで、競技スポーツの技術向上や、市民のスポーツに対する意欲の高揚に努めます。



(ソフトテニス教室)



(バスケットボール教室)

(4) スポーツ推進のための環境整備

①地域スポーツ活動を支える人材の育成

【具体的な取組】

- スポーツ振興の推進役として期待されるスポーツ推進委員について、熱意と能力を有する指導者を積極的に委嘱します。
- 県等が行う講習会等を積極的に活用して指導者の育成に努めます。
- 市内各地区協議会の体育委員会等の活動に対し、スポーツの情報提供等や必要な支援に努めます。

②スポーツ施設の有効活用・利用促進

【具体的な取組】

- 市のホームページ等を活用したスポーツ施設の空き情報や大会等の開催状況等の情報提供を行います。
- 市内スポーツ施設等の指定管理者となっている、市体育協会と連携し、効果的かつ効率的な施設運営に努めます。



(出前講座でのキンボール実技指導)

③市民のスポーツ意識の高揚

【具体的な取組】

- これまでのスポーツ賞等に加え、国際大会などで入賞した選手を特別に顕彰し、市民のスポーツ活動に対する意識の高揚を図ります。(P27参照)
- 平成37年(2025年)に本県で開催される、第80回国民体育大会に向け、市広報等での開催競技の周知や、各種イベントでのPR活動を行い、国体開催ムードの醸成を図ります。

平成元年～平成29年 スポーツ賞等受賞者人数一覧

	スポーツ功労賞	スポーツ指導賞	スポーツ賞	スポーツ奨励賞	スポーツ特別賞
平成 元年 (第24回)	1		21	57	
平成 2年 (第25回)			32	31	
平成 3年 (第26回)			51		
平成 4年 (第27回)	1		59		
平成 5年 (第28回)	3		64		
平成 6年 (第29回)	1		73		
平成 7年 (第30回)	2		53		
平成 8年 (第31回)	1		46		
平成 9年 (第32回)	2		49	1	6
平成10年 (第33回)			49		
平成11年 (第34回)	1		66		
平成12年 (第35回)	1		76		1
平成13年 (第36回)	2		41	25	
平成14年 (第37回)	1	1	34	12	
平成15年 (第38回)		1	61	21	
平成16年 (第39回)	2		43	33	
平成17年 (第40回)	3		29	43	
平成18年 (第41回)	1		33	48	
平成19年 (第42回)	1		18	31	
平成20年 (第43回)	1		37	30	
平成21年 (第44回)			23	54	
平成22年 (第45回)			33	38	
平成23年 (第46回)	1		26	68	
平成24年 (第47回)			35	50	
平成25年 (第48回)	1		36	63	
平成26年 (第49回)	1		57	61	
平成27年 (第50回)			47	49	2
平成28年 (第51回)	2		48	25	
平成29年 (第52回)	1		47	41	1

(人)

【参考資料】

1 スポーツ基本法（平成23年6月制定）

「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人々の権利である。」という基本的理念のもと平成23年6月に「スポーツ基本法」が制定されました。

その理念の実現に向け、国及び地方公共団体の責務の明確化、また、学校、スポーツ団体、民間企業など、スポーツに関連する多様な主体との連携の重要性が示されました。

2 スポーツ基本計画（平成24年3月策定）

国は、スポーツ基本法に基づき、平成24年3月に「スポーツ基本計画」を策定しています。「スポーツ基本計画」では、わが国の社会の現状と目指すべき社会像を描きつつ、スポーツ基本法の理念に基づき、スポーツを通じて目指す社会の姿を明らかにし、今後10年間の基本方針を定めるとともに、今後5年間にわたって総合的かつ計画的に取り組む施策を体系化しています。

○10年間の基本方針

- ①子どものスポーツ機会の充実
- ②ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- ③住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備
- ④国際競技力の向上に向けた人材の養成やスポーツ環境の整備
- ⑤オリンピック・パラリンピック等の国際競技大会の招致・開催等を通じた国際貢献・交流の推進
- ⑥スポーツ界の透明性、公平・公正性の向上
- ⑦スポーツ界の好循環の創出

3 青森県スポーツ推進計画（平成28年4月策定）

青森県教育委員会が平成22年3月に策定した「青森県スポーツ振興計画」が平成27年度末で終了することから、平成28年度から平成33年度までの6年間の新たな計画として策定されました。「豊かなスポーツライフの実現」を基本理念とし、県民が生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境づくり、全国大会などで活躍する選手の育成、スポーツ活動を支える人材の輩出などを通じ、競技力の総合的な向上を進め、県民の豊かなスポーツライフの実現を目指しています。

○5つの取組方針

I ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

- (1)若者のスポーツ活動の推進
- (2)働き盛り、子育て世代のスポーツ活動の推進
- (3)高齢者のスポーツ活動の推進

II 学校や地域における子どものスポーツ機会の充実

- (1)幼児期からの子どもの体力向上方策の推進
- (2)学校の体育活動の充実
- (3)子どもを取り巻く地域のスポーツ環境の充実

Ⅲ 地域のスポーツ環境の整備・充実

- (1) 総合型地域スポーツクラブの育成・推進
- (2) 地域のスポーツ活動を支える人財の育成・活用
- (3) 地域スポーツ施設の有効活用・利用促進
- (4) 地域スポーツにおける企業・大学等との連携・協働の推進

Ⅳ 競技スポーツの推進

- (1) 国際大会や全国大会で活躍できるジュニア選手の発掘・育成
- (2) 一貫指導体制による育成強化システムの構築
- (3) スポーツ科学を活用した競技力向上支援体制の整備及び指導者の育成
- (4) あおもりアスリートネットワークの協力を得た強化支援体制の整備

Ⅴ スポーツによる地域の活性化

- (1) スポーツを通じた地域の活性化
- (2) スポーツによる交流の推進
- (3) スポーツ活動推進のための情報発信

4 第5次黒石市総合計画後期基本計画

平成13年度に第4次となる黒石市長期総合プランを策定し、「あずましの里くろいし」の実現に向け諸施策に取り組んできましたが、計画期間が終了したことから、平成23年度以降の8年間のまちづくりのビジョンを示す基本構想と具体的な施策を定めた前期・後期4年ごとの基本計画で構成されています。

基本構想では、キャッチフレーズを「なつかしい、おいしい、あたらしい 黒石」と黒石のあるべき理想像を明快に表現し、「健康に暮らせるまち」や「活力にあふれるまち」など6つのまちづくりの目標と、「農業活性化」や「定住対策」など4つの重点プロジェクトを定め、各施策を推進しています。

5 黒石市教育大綱（平成29年2月策定）

黒石市の教育の目標や施策の根本となる方針として、「黒石市教育大綱」を策定しました。「心豊かな人を育てるまち黒石」を目標とし、その実現のために市長と市教育委員会が地域の教育政策の方向性を共有して、教育施策を推進していきます。

○黒石市教育大綱（一部抜粋）

3 教育施策の4つの柱

（4）心身の健康を保ち、活力と感動を生み出すスポーツ活動の推進と健康都市宣言に伴う教育環境の充実に努めます。

【最重要項目】

◆ 一市民一スポーツの推進

子どもから高齢者まで、全ての市民が自分にあったスポーツに親しむことを通して健康長寿社会の実現を目指していきます。

◆ スポーツ施設の管理運営

指定管理者制度のもと、施設設備が有効に管理運営されるよう指導・支援をしていきます。

◆ 健康教育の推進

各学校において、生涯にわたって健康を維持していこうとする意識の向上と健康維持に向けた具体的な方法を身に付けることのできる授業を展開されるよう指導・助言を行っていきます。

6 スポーツ推進委員

市町村の教育委員会は、市町村におけるスポーツの推進に係る体制の整備を図るため、スポーツ推進委員を委嘱しています。役割として、スポーツの実技指導やその他スポーツに関する指導及び助言等があります。

黒石市スポーツ推進計画策定委員会委員名簿

任期：平成29年11月2日～平成30年3月31日

No.	氏名	所属（職名）等	備考
1	吉田 安宏	公益財団法人黒石市体育協会会長	
2	村元 英美	公益財団法人黒石市体育協会専務理事	
3	酒井 孝洋	黒石市スポーツ推進委員会会長	
4	今 和香子	黒石市スポーツ推進委員	
5	高木 一則	黒石市校長会（黒石市立北陽小学校校長）	
6	神 洋文	黒石市校長会（黒石市立黒石中学校校長）	
7	大沢 陽子	学識経験者	
8	山口 龍城	学識経験者	
9	千葉 毅	黒石市健康福祉部健康推進課長・ 黒石市子育て世代包括支援センター 所長兼務	
10	佐藤 正徳	黒石市教育委員会理事・指導課長事務 取扱・教育研究所長兼務	